

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年2月10日
【四半期会計期間】	第88期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）
【会社名】	三井製糖株式会社
【英訳名】	Mitsui Sugar Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 飯田 雅明
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号
【電話番号】	(03)3663-3111
【事務連絡者氏名】	経理部長 小塚 智広
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号
【電話番号】	(03)3663-3111
【事務連絡者氏名】	経理部長 小塚 智広
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第87期 第3四半期連結 累計期間	第88期 第3四半期連結 累計期間	第87期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成23年 4月1日 至平成23年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(百万円)	61,979	61,962	80,720
経常利益(百万円)	6,385	5,561	6,963
四半期(当期)純利益(百万円)	3,814	2,094	4,034
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	3,842	1,961	4,067
純資産額(百万円)	51,912	52,800	52,132
総資産額(百万円)	70,689	69,320	71,538
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	28.39	15.66	30.03
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	72.25	74.92	71.72

回次	第87期 第3四半期連結 会計期間	第88期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	6.17	11.25

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 第87期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、砂糖事業において連結子会社スプーンシュガーウエスト(株)は、平成23年4月1日付で連結子会社スプーンシュガー(株)及び連結子会社(株)スプーンフーズを吸収合併し、商号をスプーンシュガー(株)に変更しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、新たに締結した経営上の重要な契約等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況の中、生産の回復を中心に持ち直しつつありましたが、欧州の政府債務危機に起因する海外経済の失速や円高の長期化、タイの洪水影響などを受け、回復速度は緩やかなものとなりました。また、先行きについても震災以前からのデフレ傾向や厳しい雇用情勢に加えて電力供給の制約や原子力災害の影響も懸念され、依然として厳しい状況が継続すると思われま

セグメントの概況は以下の通りであります。

（砂糖事業）

砂糖事業におきましては、原料面では海外粗糖相場が主にブラジル生産見通しの影響を受け、期を通じて動きの激しい状況にて推移いたしました。当社としては慎重かつ堅実な原料調達に努めると共に、適宜出荷価格を改定し、適正な価格での販売に注力いたしました。

売上高としては国内販売価格水準の上昇を背景に前年同期を若干上回る結果ではありますが、震災により工場生産設備に一部被害を受けたこと、また第3四半期において原料相場の下落による先安感から業務用の販売が低調に推移したことなどにより販売量は前年同期を下回りました。

生産面では原発事故の影響に伴う節電対応や省エネ活動に努めましたが、原油相場が高水準で推移したことにより燃料費が悪化いたしました。

以上の結果、砂糖事業の売上高は55,654百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は3,388百万円（同31.3%減）となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋 1kg当たり）

始値189～190円 高値190～191円 安値185～186円 終値190～191円

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値27.11セント 高値31.85セント 安値20.40セント 終値23.31セント

（食品素材事業）

食品素材事業におきましては、主にガーデニアン色素の水産加工品向け販売量が増加するなど色素事業が好調に推移しましたが、パラチノース®事業の輸出版売量の減少などを受け、事業全体としては売上高5,300百万円（前年同期比6.1%減）、営業利益332百万円（同8.5%減）と前年同期を若干下回る結果となりました。

（不動産事業）

不動産事業におきましては、賃料相場の低迷等、厳しい環境が続く中、引き続き社有不動産の効率的活用に努めた結果、売上高は1,007百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益は566百万円（同9.5%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は61,962百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益は4,287百万円（同27.6%減）となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティとして457百万円を計上したこと、またタイ国関係会社の堅調な業績から持分法による投資利益679百万円を計上したことなどにより、経常利益は5,561百万円（前年同期比12.9%減）となりました。

特別損益においては、生産性の向上を目的とした生産拠点の見直しを検討し、平成23年11月7日開催の取締役会において、平成24年9月末をもって岡山工場における精製糖生産を終了し、神戸工場へ生産集約することについて決議したことに伴い、減損損失2,009百万円を計上したことなどにより、四半期純利益は2,094百万円（前年同期比

45.1%減)となりました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は339百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4)主要な設備

平成23年11月7日開催の取締役会において、平成24年9月末をもって当社の生産拠点の1つである岡山工場（岡山市南区）における精製糖生産を終了し、神戸工場へ生産集約することを決議いたしました。

これに伴い、当第3四半期連結累計期間において、岡山工場について減損損失2,009百万円を計上し、減損損失計上後の帳簿価額は1,066百万円となっております。

また、神戸工場への生産集約に伴い、新たに確定した主要な設備の新設等の計画は以下の通りであります。

会社名、事業所名	所在地	セグメントの名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達方法	着手及び完了予定	
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了
三井製糖(株) 神戸工場	神戸市 東灘区	砂糖事業	精製糖生産設備	2,143	-	自己資金及び 借入金等	平成23年11月	平成24年12月

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	300,000,000
計	300,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	141,667,400	141,667,400	東京証券取引所 大阪証券取引所 各市場第一部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。
計	141,667,400	141,667,400	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日	-	141,667,400	-	7,083	-	1,177

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 8,511,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 132,372,000	132,372	同上
単元未満株式	普通株式 784,400	-	同上
発行済株式総数	141,667,400	-	-
総株主の議決権	-	132,372	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権の数1個)含まれております。

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
三井製糖株式会社	東京都中央区日本橋本町二丁目8-2	8,111,000	-	8,111,000	5.73
南西糖業株式会社	東京都千代田区岩本町三丁目2-9	400,000	-	400,000	0.28
計	-	8,511,000	-	8,511,000	6.01

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,458	4,539
受取手形及び売掛金	4,488	5,241
商品及び製品	4,085	4,796
仕掛品	1,709	1,798
原材料及び貯蔵品	5,438	3,648
繰延税金資産	548	381
その他	302	239
貸倒引当金	10	11
流動資産合計	22,021	20,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,077	23,863
減価償却累計額	16,118	16,479
建物及び構築物(純額)	7,958	7,383
機械装置及び運搬具	39,453	38,831
減価償却累計額	32,269	32,934
機械装置及び運搬具(純額)	7,183	5,897
工具、器具及び備品	1,619	1,599
減価償却累計額	1,343	1,326
工具、器具及び備品(純額)	275	272
土地	19,682	18,906
リース資産	44	55
減価償却累計額	15	22
リース資産(純額)	28	32
建設仮勘定	1,045	2,127
有形固定資産合計	36,174	34,620
無形固定資産		
無形固定資産合計	55	347
投資その他の資産		
投資有価証券	12,336	12,721
長期貸付金	59	50
繰延税金資産	129	140
その他	781	826
貸倒引当金	19	20
投資その他の資産合計	13,287	13,718
固定資産合計	49,517	48,685
資産合計	71,538	69,320

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,382	5,329
短期借入金	-	500
1年内返済予定の長期借入金	1,324	413
コマーシャル・ペーパー	-	1,000
リース債務	8	10
未払費用	2,566	1,802
未払法人税等	1,330	667
未払消費税等	31	253
役員賞与引当金	68	38
資産除去債務	-	24
その他	1,074	1,108
流動負債合計	12,786	11,148
固定負債		
長期借入金	1,185	960
リース債務	21	23
繰延税金負債	1,216	625
退職給付引当金	1,792	1,580
資産除去債務	56	31
長期預り保証金	1,022	913
その他	1,324	1,237
固定負債合計	6,619	5,371
負債合計	19,406	16,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,254	1,255
利益剰余金	46,081	47,233
自己株式	2,566	2,914
株主資本合計	51,851	52,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	171	127
繰延ヘッジ損益	0	2
為替換算調整勘定	713	846
その他の包括利益累計額合計	541	721
少数株主持分	821	864
純資産合計	52,132	52,800
負債純資産合計	71,538	69,320

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 3 四半期連結累計期間 】

(単位 : 百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	61,979	61,962
売上原価	48,025	49,796
売上総利益	13,954	12,166
販売費及び一般管理費		
配送費	1,837	1,852
役員賞与引当金繰入額	49	35
退職給付引当金繰入額	111	113
その他	6,034	5,878
販売費及び一般管理費合計	8,033	7,878
営業利益	5,921	4,287
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	55	59
受取ロイヤリティー	0	457
持分法による投資利益	464	679
雑収入	110	215
営業外収益合計	633	1,413
営業外費用		
支払利息	21	17
固定資産除却損	37	36
雑損失	109	85
営業外費用合計	169	139
経常利益	6,385	5,561
特別利益		
投資有価証券売却益	-	6
合理化対策事業助成金収入	44	61
特別利益合計	44	68
特別損失		
固定資産圧縮損	44	61
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33	-
減損損失	-	¹ 2,009
災害による損失	-	² 25
投資有価証券評価損	35	14
特別損失合計	113	2,111
税金等調整前四半期純利益	6,316	3,517
法人税、住民税及び事業税	2,216	1,785
法人税等調整額	234	410
法人税等合計	2,450	1,375
少数株主損益調整前四半期純利益	3,865	2,142
少数株主利益	50	47
四半期純利益	3,814	2,094

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,865	2,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	36
繰延ヘッジ損益	0	2
持分法適用会社に対する持分相当額	40	142
その他の包括利益合計	22	181
四半期包括利益	3,842	1,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,791	1,913
少数株主に係る四半期包括利益	50	47

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
1. 保証債務 連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対する連帯保証 コムパワピーシュガー(株) 95百万円 カセットボンシュガー(株) 495百万円 計 590百万円	1. 保証債務 連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対する連帯保証 コムパワピーシュガー(株) 60百万円 カセットボンシュガー(株) 339百万円 計 400百万円

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)						
1 .	<p>1 . 減損損失</p> <p>減損損失を認識した資産グループの概要</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">場所</th> <th style="text-align: center;">用途</th> <th style="text-align: center;">種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">岡山工場 (岡山市南 区)</td> <td style="text-align: center;">精製糖生産設 備</td> <td style="text-align: center;">建物及び構築物、機械 装置及び運搬具、工具 器具及び備品、土地</td> </tr> </tbody> </table> <p>減損損失に至った経緯 岡山市南区に所在する岡山工場の精製糖生産設備について、資産グループの回収可能価額を著しく低下させる変化が生ずる見込みとなったため、減損損失を認識しております。</p> <p>減損損失の内訳</p> <p>建物及び構築物 299百万円 機械装置及び運搬具 928百万円 工具、器具及び備品 6百万円 土地 775百万円 計 2,009百万円</p> <p>グルーピングの方法 固定資産を砂糖事業グループ、食品素材事業グループと不動産事業グループとに大区分し、さらに砂糖事業グループは工場別に区分しております。食品素材事業グループは主としてパラチノースグループ、色素グループ、寒天・ゲル化剤グループ、バイオグループに区分しております。不動産事業グループは賃貸物件毎に区分しております。なお、遊休資産につきましては、個々の物件毎に区分しております。</p> <p>回収可能価額の算定方法 回収可能価額は使用価値によっており、将来キャッシュ・フローを5.0%で割り引いて算定しております。</p> <p>2 . 災害による損失 東日本大震災に伴う災害関連経費であります。</p>	場所	用途	種類	岡山工場 (岡山市南 区)	精製糖生産設 備	建物及び構築物、機械 装置及び運搬具、工具 器具及び備品、土地
場所	用途	種類					
岡山工場 (岡山市南 区)	精製糖生産設 備	建物及び構築物、機械 装置及び運搬具、工具 器具及び備品、土地					
2 .							

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
<p>1 . 第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。</p> <p>減価償却費 1,643百万円</p>	<p>1 . 第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。</p> <p>減価償却費 1,651百万円</p>

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月23日 定時株主総会	普通株式	942	7.0	平成22年3月31日	平成22年6月24日	利益剰余金
平成22年10月29日 取締役会	普通株式	403	3.0	平成22年9月30日	平成22年12月3日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	538	4.0	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金
平成23年11月7日 取締役会	普通株式	400	3.0	平成23年9月30日	平成23年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	砂糖事業	食品素材事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,239	5,644	1,095	61,979	-	61,979
セグメント間の内部売上高又は振替高	28	0	54	83	83	-
計	55,268	5,644	1,149	62,062	83	61,979
セグメント利益	4,931	363	626	5,921	-	5,921

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	砂糖事業	食品素材事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,654	5,300	1,007	61,962	-	61,962
セグメント間の内部売上高又は振替高	39	-	44	84	84	-
計	55,693	5,300	1,052	62,046	84	61,962
セグメント利益	3,388	332	566	4,287	-	4,287

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「砂糖事業」セグメントにおいて、岡山市南区に所在する岡山工場の精製糖生産設備について、資産グループの回収可能価額を著しく低下させる変化が生ずる見込みとなったため、減損損失2,009百万円を計上しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	28円39銭	15円66銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	3,814	2,094
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	3,814	2,094
普通株式の期中平均株式数(千株)	134,354	133,808

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年11月7日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....400百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....3円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成23年12月2日

(注) 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月7日

三井製糖株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 油谷 成恒 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 池田 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三井製糖株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三井製糖株式会社及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。